

第 22 回東北少年フェンシング大会開催要項

主催 東北フェンシング連盟・第 22 回東北少年フェンシング大会実行委員会

主管 青森県フェンシング協会 黒石市フェンシング協会

後援 (社)日本フェンシング協会・黒石市・黒石市教育委員会・黒石市体育協会
・青森県高体連フェンシング部
「この大会は日本フェンシング協会の認定大会です」

期 日 平成 24 年 3 月 31 日 (土) ~ 4 月 1 日 (日)

31日(土)		1日(日)	
練習会場	9:00~競技終了	練習会場	8:00~競技終了
技術委員会	11:00~11:20	競技	9:00~13:30
監督会議	11:30~12:20	閉会式	13:30~14:00
競技	13:00~17:30		

会場 スポカルイン黒石
〒036-0316 青森県黒石市ぐみの木三丁目 65
TEL 0172-53-8111

種 目 フルーレ個人戦

種 別 小学校男子 A (小学新 5~6 年) 小学校女子 A (小学新 5~6 年)
小学校男子 B (小学新 3~4 年) 小学校女子 B (小学新 3~4 年)
小学校男子 C (小学新 1~2 年) 小学校女子 C (小学新 1~2 年)
中学校男子、中学校女子
※人数により男女混合の場合があります。

参加資格 (1)平成 23 年度事業としての扱いであるが、エントリーについては小学生は新 1 年生以上
で中学生も新学年でのエントリーとする。
(2)選手、監督とも平成 23 年度日本フェンシング協会登録会員であること。
(3)選手の保護者及び所属学校長に承諾を得たもの。

監督等 監督は 1 種目につき 1 人とし、監督代行は種別毎に次のとおりとする。

選手の数	1 人	2 人~5 人	6 人以上
監督代行	認めない	1 人	2 人

表彰 第 8 位までに賞状、第 3 位 (2 人) までに記念品を授与する。

参加料 1人2,000円（申し込み後は返還しない。）

参加申込 参加料を下記口座に振り込み、別紙の参加申込書に必要事項を記入のうえ、参加料の銀行振込の控え（コピー等）を添付して平成24年3月9日（金）までに郵送又はFAXで申し込むこと。

・参加申込書郵送先 〒036-0325 黒石市青山74番地41

第22回東北少年フェンシング大会実行委員会 宛て 電話・FAX 0172-53-6268

・銀行名 青森銀行 尾上支店 振込口座番号 3008888

・名義 第22回東北少年フェンシング大会実行委員会 会計 津川成寿

・連絡先（代表） 駒井昭雄 携帯番号 090-9036-9667

宿泊 必要がある場合は、各自でご予約ください。なお、FAXのみでの申し込みとなります。

【幹旋業者】 黒石市西十和田旅館組合 宛て

黒石温泉郷（落合温泉、板留温泉、温湯温泉） 一泊二食 6,000円から

FAX 0172-59-5304

競技方法 下記競技方法による。ただし参加人数により変更する場合がある。

注意事項 (1)規定のユニフォーム、プロテクターを着用すること。

（中学生）

・ユニフォーム上下 350N

・F.I.E公認マーク付き半袖付プロテクター800N

・F.I.E公認マーク付きマスク 1600N

（小学生）

・F.I.E公認マーク付き半袖付プロテクター800N

(2)マスクは、後部脱落防止のついたものを使用すること。電導ビブは採用しない。

(3)ストッキングは肌を露出しない長めで厚手のものを着用すること。

(4)ゼッケンは、名前、所属を縦15cm横20cmの白布に明瞭に書き、後ろ大腿部につけること。

用具検査 (1)混雑緩和のため用具検査は行わない。ただし、別記事項に沿って剣・用具等は各自チェックした上で持参すること。

(2)検査は、試合前にピスト上で審判が行い、ルールに適合しない用具等がある場合には罰則を適用する。

傷害保険 各所属において、選手全員が傷害保険に加入すること。

- その他 (1)中学生男女3位(4名)まで第19回JOCオリンピックカップに推薦する。
(2)審判員の確保が困難なことから、大会引率の指導者の中から審判員に依頼することがある。

競技方法

試合規則 国際フェンシング連盟試合規則(改正部分は、できる限り最新のもの)を準用する。
なお、一部については、(社)日本フェンシング協会の定める試合規則及び全国少年大会のルールを適用する。

試合方法 1回のプール戦とエリミナシオンディレクトの混合方式とする。

- (1) 1回戦は、1プール5~6人とし、全試合行う。
- (2) エリミナシオンディレクトは、敗者復活戦のない方式とする。
- (3) シードにおける順位は、1回戦の結果(バラージュの結果はこれに含めない。)により下記の要領で決定する。
 - ①勝率 高い方を上位とする。
 - ②指数(TD-TRの高い方を上位とする。ただし、各プールの人数が異なる場合はTD/TRの高い方を上位とする。)
 - ③突数(TDの多い方を上位とする。ただし、各プールの人数が異なる場合はTD/Mの高い方を上位とする。)
 - ④抽選(ただし、エリミナシオンディレクト出場の最下位選手が複数の場合は、バラージュ)

※参加人数により種別及び競技方法が変更になる場合があります。

その他詳細は、技術委員会の指示による。

- 組み合わせ (1)プール戦は当年度全国少年大会のベスト8、前年度東北少年大会のベスト8のシード同県、同所属内シードを考慮する。
(2)エリミナシオンディレクトは、1回戦の結果により組み合わせを行い、所属については一切考慮しないものとする。

※組み合わせは当日発表

- 試合 (1)プール戦 3分間(実働)5本勝負
(2)エリミナシオンディレクト 3分間(実働)*2セット、10本勝負(マッチ間の休憩は、1分)
(3)エリミナシオンディレクト出場の人数は、参加人数により技術委員会が決定する。
(4)すべての試合に於いて、試合時間が終了した場合には試合終了時点のスコアをそのまま記録し、勝者にはVを、敗者には突き数のみを記す。同点で試合時間が終了した場合には、優先権を決定するための抽選を行う。1本先取で勝敗が決した場合は、延長戦前

のスコア（同点）に1本加算するものとする。ただし、同点で延長戦の時間が終了した場合は延長戦前のスコア（同点）に優先権のある選手にVを付すものとする。

コ ー ル 原則として当該種別の試合時間30分前とするが、試合時間が早まる場合があるので、試合開始予定時間の1時間前には、会場で待機するものとする。

用具検査

混雑緩和のため、用具検査は行わない。ただし、下記事項に沿って、剣・用具等は、所属毎にチェックした上で持参すること。検査は、試合前に審判がピスト上でチェックし、ルールに適合しない用具等があれば、罰則を適用する。また、特に円滑な運営を図るため、下記について充分整備しておくこと。

マスク

縫い目の腐食と絶縁不良、12kgの耐圧強度、縫い目のほころびと腐食、脱落防止用安全バンドの装着。

剣（※ピスト脇に予備を準備のこと）

剣身のさび、ガードの変形、剣先の絶縁15cmポイントの圧力500g以上、ソケットの脱落安全装置等。

ボディワイヤー（※ピスト脇に予備を準備のこと）

わにぐちクリップの幅1cm以上、配線40cm以上で接続ハンダ付け（絶縁しない）されている等。

メタルジャケット

試合開始前のテストで、破れ、縫い目のほころび、襟の酸化（サビ）等で白ランプの表示が出ないこと。